

2023年1月5日

<報道関係各位>

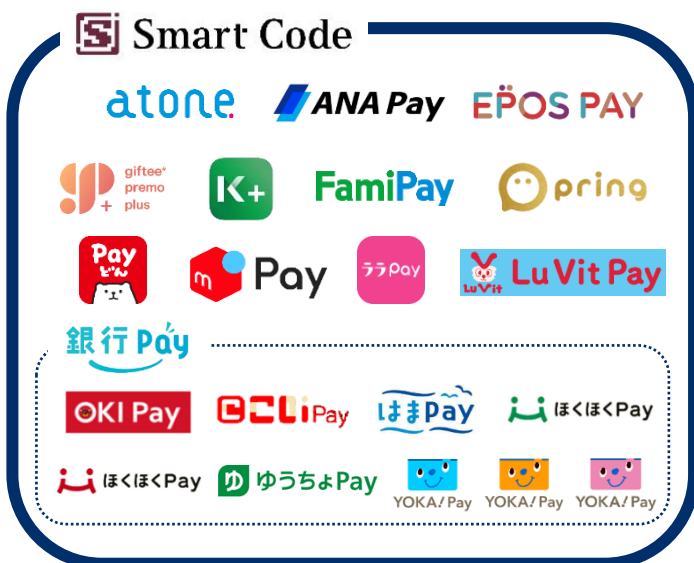
株式会社ジェーシービー

## QR・バーコード決済スキーム「Smart Code™」が初めて飲料自販機などで取り扱いを開始

株式会社ジェーシービー（本社：東京都港区、代表取締役会長兼執行役員社長：浜川 一郎、以下：JCB）は、株式会社エム・ピー・ソリューション（本社：東京都港区、代表取締役：佐藤 栄治）が提供する最新型の自動販売機・精算機（以下、自動機）向けの決済端末「IM10」で「Smart Code」の取り扱いが開始になったことをお知らせします。

今回、自動機向けキャッシュレス決済サービス「JAMA マルチマネーサービス（以下、JMMS）」を利用し、飲料自販機などに設置されている最新型の自動機向けの決済端末「IM10」で、Smart Code が利用できるようになりました。自動機で Smart Code が利用できるようになったのは今回初です。

既にご利用いただける決済手段に加えて Smart Code に対応しているコード決済サービス「atone」「ANA Pay」「EPOS PAY」「ギフトプレモ Plus」「銀行 Pay（OKI Pay、こい Pay、はま Pay、ほくほく Pay、ゆうちょ Pay、YOKA! Pay 等）」「K PLUS」「FamiPay」「pring」「Pay どん」「メルペイ」「ララ Pay」「Lu Vit Pay」が、「IM10」搭載の自動機でご利用いただけるようになります。また、これより Smart Code に対応するコード決済サービスもご利用いただけます。



新型決済端末「IM10」

## Smart Codeとは

JCBがQR・バーコード決済事業者(以下、事業者)と店舗をつなぐ決済情報処理センターの提供や加盟店契約の一本化を行い、事業者や店舗の負荷軽減、また消費者にとって安全・安心な決済を実現する決済スキームです。

▶ Smart Code の詳細は[こちら](#)

## 事業者側の対応メリット

■ 各店舗との契約締結やシステム開発無しに、全 Smart Code 加盟店での QR・バーコード決済(以下、コード決済)の取り扱いが可能に

## 店舗側の取り扱いメリット

- Smart Code に対応する全コード決済サービスの取り扱いが可能に  
(対応事業者が増えた場合も、店舗側での端末のシステム改修や煩雑な手続きをせず、新たなコード決済の取り扱いが可能)
- コード決済事業者と店舗間の加盟店契約締結や決済処理、精算を JCB が一本化
- 海外のコード決済を取り扱い開始する際に必要なシステム対応負荷を軽減

## 無人機向けキャッシュレス決済サービス「JMMS」とは

JMMSは株式会社エム・ピー・ソリューションが提供する、自動販売機・精算機で複数の電子マネー決済をすぐに使える『ワンストップサービス』です。

キャッシュレス決済を利用する上で必要となる契約～業務を一括処理することができる、マルチマネー決済サービスを提供しており、約1,100社5万台以上の稼働実績があります。(2022年12月時点)

## 新型マルチ決済端末「IM10」とは

「IM10」は1台で国内主要な電子マネー、コード決済、非接触型ICクレジットカード決済の取り扱いを可能にする最新型の自動販売機・精算機向けの決済端末です。

2021年2月のリリース以降、大手飲料メーカーをはじめ全国各地の飲料自販機領域へ提供しています。昨今では飲料自販機に限らず、冷凍食品はもとより、観光お土産、服飾雑貨等、スポーツ施設等の入場券売機、自治体や学校内での証紙券売機、コインランドリーやコインロッカーの自動精算機など、あらゆる自販ニーズがあります。

- ▶ サービス詳細に関する詳細は[こちら](#)
- ▶ IM10 の詳細は[こちら](#)

JCB は、「おもてなしの心」「きめ細かな心づかい」でお客様一人ひとりのご期待に応えていきます。そして「便利だ」「頼れる」「持っていてよかった」と思っていただけ、お客様にとっての世界にひとつをめざし続けます。

以上

<報道関係者からの問い合わせ先>  
株式会社ジェーシービー 広報部 広報グループ 高田・中島  
MAIL: [jcb-pr@jcb.co.jp](mailto:jcb-pr@jcb.co.jp) TEL: 03-5778-8353